

環境新づくり 会報

34号

題字／福田博子

編集・発行／入間市環境まちづくり会議

2024年3月31日発行



二ノ宮 小百合 (記)

令和6年3月3日(日)「第12回 いるま環境フェア」が入間市市民活動センターで開催されました。「いるまから発信!私を取り組む環境のカタチ」をテーマにして、環境問題について楽しみながら学び、行動するきっかけづくりとして、普段から環境問題に取り組んでいる、市民・団体・事業者・市が取り組みを発表する場が「いるま環境フェア」です。

環境は身近で、そして簡単ではない問題を抱えています。が、何もしいよりは「ちょっと」でも何かする。そんな気持ちになった環境フェアでした。

第12回

いるま 環境フェア

2024 3.3日

10:00~15:00

いるまから発信!私を取り組む環境のカタチ

環境ウォーキング

秋も深まった十一月十八日(土)、入間市駅北口から出発するコースに集まった十人の参加者は、コースの概要と注意事項説明を聞いた後、軽く準備運動をして出発しました。

駅前から坂を下り、旧石川組製糸西洋館の横を通過し、16号線に出て、霞川の向橋を渡り北へ歩を進めました。

入間ビレッジからスーパー「いなげや」に向かう道路に設置されている自転車優先レーンを見てから「いなげや」の廃油回収ボックスでエコクリーン課の説明を受けました。

そこから南に向かつて歩き、街中のLED交通信号、民家の太陽光発電設備、街路灯の工口照明などを見学しながらウォーキングを続け、終点の市役所で太陽光発電で充電する電気自動車施設の説明を受け、無事に終了いたしました。

森 友和(記)



「ごみひろい」隊 再出発

長きにわたって「ごみひろい」隊を率いてきた本多隊長の勇退を承けて、隊のメンバーと運営委員とで数回の会合をもち、今後隊の在り方について意見交換を行いました。メンバーの活動に対する熱意とモチベーションは高く、今後も清掃活動を続ける方向で話し合いが続けられました。その結果、隊長への事務集中を避けるため世話人5名を選出し、協力して活動を継続することとなりました。

再開第一回目(通算一五四回目)は、二〇一三年十月八日(日)午前十時に13名の新旧メンバーが新たにスタート地点となった市民会館裏の駐車場に集合。以前より



若干長くなった豊岡コースを清掃しました。道行く人と朝の挨拶を交わし「ポイ捨てのないきれいな街入間市」をPRしながら約2時間、爽やかな秋の朝を感じての活動となりました。

その後、天候不順のために中止となった1月を除いて、原則毎月第2日曜日に計5回の活動を行いました。

次年度は、藤沢コースでの活動を再開するとともに、メンバーの募集やポイ捨て禁止のPRにも力を注いで行きたいと考えています。

新井 格 (記)



愛川ソーラーパーク・宮ヶ瀬ダム見学会

33名参加、コースは愛川ソーラーパーク ↓ 宮ヶ瀬ダム ↓ オギノパン

当日は台風の影響で悪天候が予想されたが一日曇り空、風はなし、気温20℃での絶好の見学日となった。

最初に愛川ソーラーパークを見学、八〇

〇〇枚のソーラーの下ではヒツジが数頭雑草を食べていた。

宮ヶ瀬ダムは横浜や川崎から約40kmという近きにある。首都圏最大級の重力式コックリーダム、二〇〇二年



に神奈川県ほぼ中央を流れる相模川に注ぐ支流のひとつ、中津川に完成、神奈川県には欠かせない水源地となっている。

堤高：一五八m 堤頂長：三七五m、運用開始：二〇〇一年四月 宮ヶ瀬ダム四つの



はたらきは

- ①洪水を防ぐ
- ②川の環境を正常に保つ
- ③水道水を貯める
- ④水力発電。

迫力のある放水を観た方からは一斉に歓声が上がったのには印象的であった。

本多 進 (記)

小水力発電・リニア新幹線見学会

二〇二三年十月三十一日
小水力発電・リニア新幹線見学会(山梨県都留市)

44名参加、コースは小水力発電↓リニアセンター

小水力発電は都留市市役所の敷地内やすぐ側にある。

元気くん一号 下掛け式水車 発電出力23kW

元気くん二号 開放型上掛け水車 発電出力19kW

元気くん三号 開放型らせん式水車 発電出力7.3kW

発電した電力は市役所で使用し休日や夜間など電力が余れば電力会社に売電する。

小水力発電は大規模なダム建設を必要とせず、小規模な農業用水などを利用して発電でき、生態系に影響しない特徴があり日本ではまだまだ普及できる可能性が高い。日本のポテンシャルは世界第五位。

リニアセンターでは浮上走行が模擬体験をできるミニリニアなどさまざまな展示物があった。疾走するリニア新幹線の500km走行試験を数回見ることが出来た。その速さに驚いた人が多かった。

本多進(記)



【事業報告】

事業名	内容
第23回総会 令和5年5月25日 於 産業文化センター	①令和4年度事業報告、②同収支決算報告(監査報告)、③正副会長の選任・運営委員の指名、④令和5年度事業計画案、⑤同収支予算案の5つの議案全てが賛成多数で可決されました。
運営委員会 第1回:令和5年5月27日 第2回:令和5年6月26日 第3回:令和5年9月11日 第4回:令和5年10月23日 第5回:令和6年1月25日 第6回:令和6年3月14日	第1回 ①運営委員の顔合せ、②本団体の今後のあり方について 第2回 ①ごみひろい隊の今後の活動について、 ②令和5年度いるま環境フェアについて 第3回 ①ごみひろい隊の存続及び今後の活動方針について、②いるま環境フェアのアンケート結果について、③環境ウォーキングの実施について 第4回 ①事務局(入間市役所エコ・グリーン政策課)が目指す方向性及び現在の取組について、②本団体の今後の方向性等について 第5回 ①本団体の令和6年度の活動について、②令和6年度定期総会について、 ③令和5年度会報について 第6回 ①令和6年度事業計画について、②令和6年度予算案について、 ③令和6年度定期総会について
環境ウォーキング 令和5年11月18日	入間市駅北口を出発し、住宅に設置された太陽光発電設備、雨水利用タンク、スーパーマーケットに設置された廃食油の回収ボックス、市役所正面玄関前に設置されたEV等を見学しました。
いるま環境フェア 令和6年3月3日 於 市民活動センター	環境問題について、市民が楽しみながら学ぶことで意識啓発を促し、行動変容を図ることを目的に、市民・団体・事業者・市がそれぞれの取組についての展示等を行うイベントを実行委員及び市と共催で開催しました。環境朗読ミュージカルや液体窒素を用いた化学実験なども行われ、大人から子どもまで幅広い年齢の方が楽しみながら環境に触れることができました。
エコライフDAY活動 夏期 7月～9月 冬期 12月～2月	埼玉県が実施する、エコライフDAY & WEEK埼玉に参加しました。この取組は、市の職員や市内小中学校の児童・生徒も任意で参加しています。

※ごみひろい隊の活動は、ごみひろい隊活動報告の項目をご参照ください。

入間市環境まちづくり会議

会報編集担当運営委員 森 友和

事務局：入間市役所環境経済部 エコ・グリーン政策課

住所：〒358-8511 入間市豊岡1丁目16番1号

FAX：04-2965-0232

TEL：04-2964-1111(内線4263)

E-mail：ir210100@city.iruma.lg.jp